

ゼネラルヒートポンプ工業株式会社

会社概要

ゼネラルヒートポンプ工業株式会社は排熱回収型ヒートポンプ冷暖房・給湯機の製造・販売を主業務として昭和59年(1984年)に愛知県名古屋市で創業した。1997年には業界ではいち早く新冷媒対応の水蓄熱にも対応した排熱回収型ヒートポンプを開発した。2000年頃より欧米諸国で普及が進んでいた地中熱ヒートポンプの開発に着手し、2005年には東京大学などとのNEDO共同研究開発により地中熱対応の高効率水冷式ヒートポンプチラー ZQH (ゼットキューハイパー)を開発し、現在では主力製品となっている。2007年には中部電力株式会社との共同研究開発により、給湯機能付きビル用マルチ空調システム「湯もでるマルチ(登録商標)」を開発し、2011年に特許を取得した。現在では、この開発により派生した給湯がないタイプの地中熱対応ビル用マルチも好調である。また、2010年には中部電力株式会社との共同研究開発により、工場における生産プロセスで利用するヒートポンプ「洗浄工程用ヒートポンプ」を開発した。

業務用、産業用を問わず、排熱回収技術をうまく利用して、現場に合わせて半オーダーメイド的にヒートポンプシステムを構築するスタイルが得意な会社である。

主要商品紹介

地中熱対応高効率水冷式ヒートポンプチラー ZQH (ゼットキューハイパー) は、安定した温度の地中熱を熱源とすることにより寒冷地域でも温暖地域でも高効率なヒートポンプシステムを構築することが可能であり、さらに、排熱回収機能を搭載することにより、例えば、夏季の冷房時に給湯用のお湯の熱が無償で得ることができるシステムが構築可能である。

地中熱対応ビル用マルチ空調システムは地中熱ヒートポンプシステムを構築する場合に二次側配管を水配管ではなく冷媒配管とすることができるため工事費を安価にすることができる。また、室内機の種類が豊富であり、リモコンによる制御費用のコストダウンも図ることが可能である。

洗浄工程用ヒートポンプは従来洗浄機の熱源として

利用されてきたボイラーや電気ヒータの代わりとなるもので、エネルギー削減率は60%以上となる。また、冷却も必要な場合は「冷却・加熱兼用型」があり、さらなる省エネ効果が期待できる。



排熱回収型水冷式ヒートポンプ冷暖房給湯機 ZQH
36HP モジュール (高温型の場合 25HP モジュール)



洗浄工程用ヒートポンプ
(型式: PROHP-12A-H)



地中熱対応空水冷式ビル用
マルチ空調システム (室外機)

連絡先

ゼネラルヒートポンプ工業株式会社

本社 愛知県名古屋市緑区大高町已新田 121

TEL: 052-624-6368 FAX: 052-624-6095

東京支社 東京都中央区日本橋馬喰町 2-5-4 馬喰町 AFビル 4F

TEL: 03-5642-7778 FAX: 03-5642-7780

<http://www.zeneral.co.jp/> (お問い合わせフォームあり)